

郡山市は昨年、市制施行90周年を迎え、今年は郡山商工会議所が設立90周年を迎えました。次の世代をさらに輝かしい未来とするため、本紙はシリーズで「郡山」の未来を明るく照らす動きにスポットを当て、挑戦し続ける人物や団体を紹介しています。

郡山の輝かしい未来のために

**KORIYAMA NEXT 100**

to the bright future

Vol.5

アニメーションで感動を  
福島から世界へ発信する



Art& Design

福島ガイナックスへの採用が内定した  
鳴原りささん、山下優さん

郡山市の国際アート&デザイン専門学校で学ぶ山下優さん(20)と鳴原りささん(19)は、三春町の福島ガイナックスにアニメーターとして採用されることが決まりました。今春開設した同社の初の新卒採用となり、次世代を担うアニメーターとして期待が持たれています。子どもたちから大好きだったアニメーションの仕事で地元福島で制作できる喜びをかみしめている2人は、「多くの人たちが感動するようなアニメーションを福島から世界に発信したい」と夢をふくらませています。

山下さんは二本松市、鳴原さんは郡山市在住で、2014年4月、イラストレーターやCGデザイナーなどを養成するコミックイラスト科に入学しました。

同科は『趣味』のイラストを『仕事』に変えることをテーマに指導をしています。2人の担任の山田直美さんは「イラストが他人にどのように見られるかということを意識させています。自分の作品は価値があるのかどうか。独りよがりになることなく、客観的な価値を

見極められるように指導してきました」と話しています。

2人はイラストの基本的な描き方など技術を学ぶだけではなく、コンペへの出展や企業との連携を深め「自分が描くイラストが社会のニーズにあっているかどうか」を常に考えながら創作活動に取り組んできたそうです。

福島ガイナックスへの内定について山田さんは「ゲーム業界などからも注目されている企業であり、とてもうれしい。多くのことを吸収してアニメ文化の発信者として活躍してほしい」とエールを送っています。

現在、同社で研修をスタートさせ、来春からの本格的な業務に備えている山下さんと鳴原さんに今後の抱負などを聞きました。

— 専門学校に進んだ理由を教えてください

**山下** テレビでアニメが好きになり、漫画やゲームなどに興味がありました。アニメで得た感動を伝えるために技術を学びたいと思ったのがきっかけです。

**鳴原** 高校までソフトボール部に所属していましたが、絵を描く仕事をしたいと考え選びました。好きな絵を思う存分、描けたので充実した日々を送れました。

— 現在の心境はいかがですか

**山下** アニメ関連の企業は東京などが中心なので、地元で働けることは、とてもうれしいです。今春から福島ガイナックスのイベントなどの手伝いをしたおかげで雰囲気を知ることができました。研修は大変ですが、新たな発見があり充実しています。

**鳴原** 落書き程度だったのですが、子どものころから絵を描くことが大好きでした。絵に携われる仕事に就けることになり「夢がなかった」と喜びでいっぱいです。研修では、趣味で描くことと仕事として描くことの違いを実感しています。

— 今後の抱負を教えてください

**山下** 自己満足に終わっては意味がないと思います。日本のアニメは世界中の人々が注目

しています。世界中が感動し、社会現象を起こせるようなアニメを制作し発信したいと思っています。

**鳴原** 「こんなアニメ見たことがない」と多くの人に感動してもらえるような作品を、地元福島から発信したいと思っています。足りないことが多くあるので、日々、努力を重ねていきます。

福島ガイナックス

福島ガイナックスは今年4月、TVシリーズ「新世紀エヴァンゲリオン」などで知られるアニメ企画・制作会社のガイナックスの子会社として三春町に開設しました。

福島市出身の浅尾芳直氏が社長を務め「福島からアニメの魅力を世界に発信する」ことをコンセプトに、アニメ制作のスタジオを運営しているほか、国内初の本格的なミュージアムを開設しています。

同社は、これまでに東邦銀行のCMや、NHK仙台放送局の復興応援キャンペーン「大好き♡東北」短編アニメ「想いのかけら」を制作、伊達市の歴史をPRするアニメを製作しています。